学童保育「体験」型増える

「放課後NPOアフタースクール」が運営する小学校内の学童ではアクションなどさまざまなプログラムがあります＝7月、東京都板橋区

放課後の居場所として小学校の放課後児童クラブ（学童保育）を利用している子どもは、去年5月時点で102万人です。宿題をしたり友だちと遊んだりと思い思いに過ごすだけでなく、学校や家とはちがう「体験」ができる学童保育が増えています。

（岩本尚子）

夏祭りに向けキックの練習

「次はキックの練習です。これが前げり、そして回しげり！」

上板橋第四小（東京都板橋区）の一角に、子どもたちが放課後を過ごす「あいキッズ」があります。約20人がアクションインストラクターの白尾聡洋さんに教わって、夏祭りでアクションショーをする予定です。「ボクシングや空手とちがってお芝居だから、本当になぐったりけったりはしません。けがをしないように息を合わせることが大事です」と白尾さん。子どもたちは集中して練習しています。

あいキッズは板橋区の放課後対策事業で、上板橋第四小では「放課後NPOアフタースクール」が運営しています。曜日ごとにバドミントンやフラフープ、そろばんなどのプログラムがあり、1日だけ影絵やどろだんご作りを教わったりと、幅広い体験ができます。

プログラムは参加自由です。スタッフには「好きなことや、かがやけることを見つけてほしい」という思いがあります。

授業以外も英語

「Kids Duo」はゲームも会話もすべて英語の学童施設です＝6月、神奈川県藤沢市

伝統文化を学ぶ

厚生労働省によると、公的な学童保育に入れない子どもの数は去年5月時点で約1万7千人。学ごす「Kids Duo」は全国に82校あります。神奈川県藤沢市の教室には低学年を中心に100人ほどが通っています。授業の時間だけでなく、外遊びの時もトイレに行きたい時も、英語を使います。

1年生の男の子は見学に来て、自分で「ここに通いたい」と決めました。「キックベースや、どろけいが楽しい」。2年生の女の子は、オーストラリア人のお父さんと話せることが増えて、英語を積極的に勉強するようになったそうです。

神奈川県鎌倉市には9月に民家の広い和室を利用して、伝統文化を学べる学童施設「鎌倉学び舎」ができます。6月には日本舞踊と三味線の体験会がありました。

2年生の女の子は今通っている学童が少し遠く、「三味線をもうちょっとやりたいので、通ってもいいな」と話します。5年生の女の子は「日本舞踊は初めてだけど、楽しかったです」。

ただ、民間の学童保育は料金が高めなので、二の足をふんだり、週のうち数日だけ通わせたりする家庭もあります。

習や習いごとに特化した民間の学童保育も増えています。

英語だけで放課後を過

和室で三味線などの伝統文化を体験できる学童施設が9月にオープンします＝6月、神奈川県鎌倉市

朝日小学生新聞

2016年（平成28年）7月25日 月曜日

©朝日学生新聞社

東京本社　〒104-8433　東京都中央区築地 5-3-2
大阪支社　〒530-0005　大阪市北区中之島 2-3-18
電話　03(3545)5223（広報）　06(6202)3893（大阪）
記事についてのお問い合わせは 03(3545)5222（編集）

ピックアップ
3面　みんな大好き おもちゃ
子どもニュース いまむかし
おさらいニュース 2面
国語の時間 5面
学校新聞コンクール 7面
永遠物語 8面